

**山形県木材産業協同組合**

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41

TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699

URL:http://www.mokusankyo.jp

E-mail:yamawood@mokusankyo.com

主な  
内容

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 3. 大型木造施設等構造研修会開催  | 7. 酒田サミットエナジー内覧会  |
| 5. 柴田廣氏 全木連会長賞受賞決定 | 9. 県産原木生産拡大推進大会開催 |
| 6. 酒田飽海支部活動報告      | 10. 県からのお知らせ 林工連携 |

**1 2018年度林野庁予算概算要求!!**

林野公共予算は、間伐や路網整備、再造林などの森林整備事業に 1,444 億円（前年度比 20%増）。林業成長産業化総合対策（川上の素材生産増強と川下の施設整備を一体的に支援する新規予算）に 300 億円等を要望する。新規予算である林業成長化総合対策は、16,17 年度の次世代林業基盤づくり交付金を引き継ぐ内容であるが、意欲と能力のある経営体に森林の管理経営を集積・集約化する地域への重点的な支援が新たな方針となる。

具体的には、意欲と能力のある経営体が行う主伐・再造林の一貫作業や路網整備、伐採・搬出への補助と、この経営体が搬出する素材の受け入れ等の連携を前提とした工場などの施設整備への補助となっている。このほか、緑の雇用事業など森林・林業人材育成事業に 67 億円。地域内エコシステムの構築を含めた木材需要の創出・輸出力強化対策事業に 9 億円。中高層建築物などでの CLT（直交集成板）等の利用促進や地域材の生産・加工・流通体制づくりの支援に 7 億円。ICT の導入・活用などスマート林業構築促進事業に 4 億円が盛り込まれた。一方で経済ベースにのらない条件不利な森林の整備費等は新設予定の森林環境税で手当てすることが構想されている。また、農林水産省と経済産業省の共同研究会が提言している集落内完結型の小規模木質バイオマス利用でも支援策を要求している。

今後は各地区ブロック会議で詳細が示され、都道府県や各団体等の要望をヒアリングし、審議会を経て財務省折衝、大臣折衝が続き、順調に進めば、年内最終日頃予算案が確定し、国会審議に移る。新規予算林業成長化総合対策費に期待したい。

**2 JAS（日本農林規格）法の改正！**

8 月 23 日（水）仙台市榴ヶ岡にある国の第 3 合同庁舎（気象庁等）の 2 階会議室で、JAS 法改正の説明会が約 100 名の関係者が参加し開催されました。

農林物資の規格化等に関する法律の一部を改正する法律が平成 29 年 6 月 16 日に成立し、6 月 23 日付で公布されましたので、その説明会の概要をお知らせします。

これまで、JAS 規格の対象は、モノ（農林水産物・食品）の品質に限定されていましたが、モノの「生産方法」（プロセス）、「取扱方法」（サービス等）、「試験方法」などにも拡大しました。併せて、産地・事業者の強みのアピールにつながる JAS 規格が制定・活用されるよう、JAS 規格案を提案しやすい手続を整備しました。広告、試験証明書等に JAS マークを表示することができるなど、新たな JAS 規格に対応した JAS マークの表示の枠組みを整備しました。木材の事例では、例えば将来的に提案式で認められれば JAS 高周波乾燥 SD15（生産方法・試験方法等追加）、JAS 金山スギ 1 級（地域で管理された製材品）などが出材される可能性があります。詳細は農林水産省ホームページで。

### 3 大型木造施設構造等研修会開催!!

8 月 22 日 (火) 山形国際ホテル 5 階月山の間 (山形市内) において、「羽黒高等学校」新校舎棟林野庁長官賞受賞記念研修会を開催した。

当日は、当組合の会員を中心に約 50 名が国内初の大型木造 3 階建学校施設の設計・コンサル業務について学んだ。特に山形木材業組合からは山形市立千歳小学校や地区コミュニティ施設の建設が続いており、今後中学校や県立の高校でも建て替えが予想されることから多くのメンバーから参加いただいた。

講師には、株式会社日本設計第 3 建築設計群副群長チーフ・アーキテクト小泉治氏と主任技師の青木潤氏があたり、それぞれ「日本設計の中大規模木造とこれまでの山形県内での取組み」、「羽黒高等学校新校舎棟設計コンセプト」と題し講演した。小泉氏は公益文化大学、酒田市役所、鶴岡タウンキャンパス、加茂水族館等に携わり、地域材の利用や木造化・内装木質化を図った施設を紹介いただいた。青木氏は羽黒高等学校の設計段階から完成までのコンサル業務を担当し、設計コンセプトや CLT など工夫した点について詳細な紹介がありました。設計概要や林野庁長官賞受賞理由等は先月号で紹介したとおりです。|



### 4 羽黒学園牧静雄理事長ら受賞報告のため知事表敬訪問!!



8 月 28 日 (月) 学校法人羽黒学園理事長牧静雄氏、株式会社日本設計副社長福田卓司氏、鶴岡建設株式会社社長五十嵐久広氏が、7 月 31 日東京木材会館 7 階ホールにて木材利用推進中央協議会にて表彰された林野庁長官賞受賞の報告のため、県庁知事室を訪れ吉村美栄子知事と面会した。牧理事長は「現在の在校生の祖父母の世代が学校林として植えたスギやカラマツを使って建設した。また、植栽して次につなげていきたい。」と話すと、吉村知事は「学校の歴史として、しっかりつないでいってほしい。大変喜ばしく思う。」と話した。

### 5 柴田廣氏、全木連会長賞受賞決定!!

8 月 9 日 (水) メルパルク東京において全木連総務委員会と全木協連表彰選考委員会合同委員会が開催され、11 月 9 日 (木)「なら 100 年会館」で開催の第 52 回全国木材産業振興大会における木材産業功労賞の審議がされ、本県から推薦された柴田廣氏に全木連会長賞の授与が決まりました。おめでとうございます。

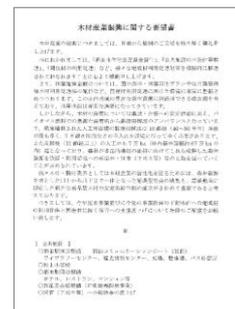
柴田氏は昭和 22 年生まれ。昭和 50 年に庄内飽海地域で唯一の木材製品市場である株式会社酒田木材市場に入社し、約 40 年にわたり市売市場一筋で発展させ、地域の木材流通のみならず資材販売や木造住宅への供給を通じて社業の拡大・発展に尽力したことで地域社会に大きく貢献しました。また、平成 9 年に協同組合酒田木建協会理事に就任をはじめ、木材産業協同組合酒田飽海支部監事や酒田港製材協同組合監事、山形県木材市場協会副理事長、木材産業協同組合監事として昨年までご活躍いただきました。

## 6 酒田飽海支部活動情報

8 月 28 日及び、8 月 31 日に庄内町 (原田町長、吉宮議長)、遊佐町 (時田町長)、酒田市 (丸山市長) 各氏に対して、県木産協酒田支部 (阿部支部長) は、酒田木材工業団地 (協) 高橋理事長、(協) やまがたの木乾燥センター阿部理事長等との連名で、「地域木材産業振興に関する要望書」を提出した。

酒田飽海支部として、地域関連組合と行政機関に対し毎年要望活動に取り組むことで、一定の成果の確保に結びついています。

要望書の内容については、各自治体毎に事業物件はあるが、今年度は、皆伐後の再造林に続く保育への支援嵩上げを共通の要望事項としています。



## 7 酒田サミットエナジー 内覧会開催

酒田に東北最大級のバイオマス発電所が 2018 秋に誕生します。バイオ燃料の輸入ペレット倉庫が酒田北港古湊ふ頭第 1 号野積場に 9 月完成予定です。発電設備等も来年 6 月試運転、10 月商業運転開始に向け着々と建設が進められ、発電設備の骨格が姿を現してきました。



酒田飽海地域木材事業関連団体並びに県内、国、県市町村森林関係公共機関合同による、バイオマス施設研修視察を、事業会社サミット酒田パワー株のご協力を得て、7 月 24 日 (月) 参加者 62 名で実施しました。

当日は、前日からの雨も視察開始頃にはあがり、発電所施設地での設備建設状況見学、ペレット倉庫内でのサミット酒田パワー株高瀬社長より説明、参加者との質疑応答により、事業概要の理解と共に再生可能エネルギー利用促進による、地域産業・経済活性への波及を大いに期待したところです。

## 8 緑の募金!! ご協力お願いします。

山形県みどり推進機構は、「県民参加による森林づくり・緑づくり運動」を推進するため、緑の募金法に基づく募金業務指定団体として、知事から山形県緑化推進委員会からの指定を受け、「緑の募金」活動を展開し、この募金を基に森林の整備や緑化の推進など、緑を守り育てる活動を行っております。このたび、春募金に続き、秋募金のキャンペーン (9 月 1 日～10 月 31 日) を実施することとしております。つきましては、組合員の皆様にも緑の募金活動の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。山形県みどり推進機構 TEL023-688-6633 まで

**平成 29 年度 緑の募金**

募金期間  
● 4/1 ~ 5/31  
● 9/1 ~ 10/31  
2,500円

ご協力をお願いします!

緑の募金には税制上の優遇措置があります。

緑の募金は身近な環境の緑化から、森林の整備、緑の普及啓発活動、森林環境教育など、さまざまな緑化活動に役立てられています。

公益財団法人 山形県みどり推進機構

## 9 県産原木生産拡大推進大会開催!!

山形県産木材の生産体制の強化、安定供給体制の構築を目的に、県内各地から森林組合、素材生産業者、行政関係者等約 100 名を集め 30 日にパレスグランデールで開催された。主催は県原木流通協議会（佐藤景一郎会長）で、大型の集材工場や木質バイオマス発電の稼働等県内の木材需要が増加傾向にあることから、関係者が先進事例の講演などを通し、原木の安定供給に向けて連携していくことを確認した。



公益財団法人東北活性化研究センター調査研究部長宮曾根隆氏が「東北の林業・木材産業の現状と今後の方向性」と題して、原木の広域流通体制や大規模工場を中心としたサプライチェーンの構築などについて基調講演した。

また、東北地方で最も生産量を伸ばしている青森県から森林組合連合会参事黒瀧晴彦氏が「青森県産原木の生産量拡大に向けたポイント」と題して、原木の全量買い取りによる新たな生産・流通体制の構築などについて話題提供を行った。その後、山形大学農学部名誉教授野堀嘉裕氏が進行役となり、様々な意見交換を行った。

木産協からは、遠田副理事長をはじめ、安楽城林産、小関興業、フォレスト、東北ウッドカッター、北桜林業、佐藤工務、SHOUNAIWOOD など多くの会社から参加いただきました。

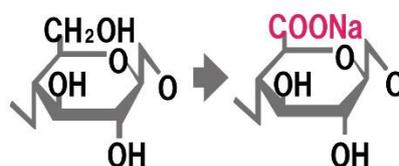
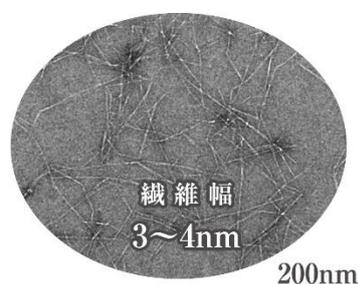
## 10 県からのお知らせ

### ○林工連携コンソーシアム設立記念講演会について（一般参加も大歓迎です！）

県では、木質バイオマス利用に係る技術開発、林業・木材加工用機械の開発など、森林資源を起点とした新たな技術や製品等の開発に向けた事業者間のマッチングを進めるため、林業・木材産業、工業、建築の関係事業者や、金融機関、大学・研究機関などが参画する「山形県林工連携コンソーシアム」を 9 月 15 日（金）立ち上げます。木産協からも多くの組合員に林工連携コンソーシアム会員登録をいただきました。

さて、設立総会終了後（16:10～17:30）にパレスグランデール 2 階エアリアルアンティスで、設立記念講演会が開催されます。講師は、日本製紙株式会社 CNF 研究所 所長河崎雅行氏「CNF（セルロースナノファイバー）の量産化・展開戦略について講演をいただきます。

※CNFは、木を構成する繊維をナノレベルまで細かくほぐすことで生まれる最先端のバイオマス素材です。植物繊維由来であることから、生産・廃棄に関する環境負荷が小さく、軽量であることが特徴で、弾性率は高強度繊維で知られるアラミド繊維並に高く、温度変化に伴う伸縮はガラス並みに良好、酸素などのガスバリア性が高いなど、優れた特性を発現します。木材繊維（パルプ）に TEMPO 触媒を作用させ、機械的に解繊することで得られる TEMPO 酸化 CNF は、3～4nm の繊維幅を持つ超極細繊維です。



完全ナノ分散が  
可能な化学処理

## 11 全国木材協同組合連合会からのお知らせ

当会では、平成 29 年度林業施設整備等利子助成事業者の募集を行います。

この事業は、森林施業の集約化、木材の加工・流通体制の改善等のために必要な資金を(株)日本政策金融公庫等から借り入れる場合、**最大 2% までの利子を助成**(現行利率では実質無利子化)するものです。募集の期間は、平成 29 年 9 月 1 日(金)～平成 30 年 1 月 31 日(水)までとなっております。詳細については、当会ホームページでご案内しています。

<http://www.zenmokukyo.jp> 全国木材協同組合連合会

## 12 木産協の大会・研修・会議等計画

	大会・研修・会議名称	内容(未定のものあり)	時期
1	美しい森づくり大会運営委員会	林材業年次大会打合せ 理事長・専務	9. 1
2	林業公社専門家会議	林業公社の諸課題の意見交換 専務	9. 1
3	山形県再造林推進会議(第 2 回)	再造林 100% 事業の制度検討等	9. 6
4	第 7 回地域材推進協議会	平成 29 年 1 月からの H28 補正予算の報告会	9. 6
5	児童木工コンクール審査会	A Z 七日町中央公民館で審査会(木青会)	9. 14
6	林工連携コンソーシアム総会	設立総会、ナノファイバー研修会	9. 15
7	第 1 回広葉樹利用等協議会	平成 29 年度新規事業の計画案協議	9. 15
8	地域再生シンポジウム(長岡市)	森林総合研究所と東北地区大学連携シンポ	9. 19 9. 20
9	J A S 検査員認定業務研修会	秋田市で東北ブロック内検査員実務研修会	9. 20 9. 21
10	自民党政経セミナー	パレスにて自民党小泉進次郎代議士講演予定	9. 24

## 13 日本百名山(山形県に 6 座)シリーズ紹介

### 西吾妻山

山形・福島県境に位置する東西約 25km の吾妻連峰の西端に位置している。標高は 2,035m で連峰の最高峰であり県内 3 位の高峰です。山頂はアオモリトドマツやコメツガ等針葉樹に覆われ展望が利かない代わりに周辺には湿原が広がり、池唐や高山植物群が点在する。チングルマ、コバイケイソウ、ミヤマリンドウ、ワタスゲの群落やヤエハクサンシャクナゲ(福島県花)が見られます。東側地区では主に福島県側で今も噴煙を上げる一切経山を中心とする火山群で昨年秋から噴火レベルが 2(火口周辺規制)から 1へ引き下げられています。



登山コースは吾妻小富士～一切経山～家形山～東大嶺～人形石～西吾妻山の縦走コースから、途中から分け入る姥湯温泉コース、滑川温泉コース、大平温泉コース、白布温泉コースや西側からの若女平コース、白布峠コースがあります。最短コースは白布温泉コースで、ロープウェイ、リフト 3 本を乗り継いで北望台登山口(標高 1,820m: 往復 3,500 円)から山頂まで約 90 分です。最安コースは白布峠コースで山頂まで約 150 分(駐車場も無料)です。帰りは「白布森の館」の日帰り温泉(400 円)が便利です。

また、山形百名山用の県ホームページが充実し、「やまがた山」という環境エネルギー部みどり自然課監修ページが開設されましたので参考にしてください。

平成 29 年 7 月期の県内新設住宅着工戸数は 528 戸となり、対前月比 81.6%、対前年同月比 81.5%となりましたが、減少は貸家アパートが対前月比 57.1%となったことが原因で、持ち家は 100.6%と維持している。また、市町村別では、東根市の木造累計が鶴岡市、酒田市、米沢市を押さえ、山形市に続く県内 2 位となりました。

1 県内新設住宅着工戸数(平成 29 年 7 月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
7月	648	348	215	1	84	637	11	548	84.6%	382	16	150
28.1~7	3,052	1,785	859	8	400	3,010	42	2,668	87.4%	1,881	68	719
8月	491	288	171	2	30	472	19	430	87.6%	272	11	147
9月	501	249	205	2	45	501	0	440	87.8%	289	8	143
10月	652	252	329	2	69	645	7	526	80.7%	348	6	172
11月	515	256	173	0	86	509	6	414	80.4%	298	9	107
12月	464	216	193	2	53	455	9	397	85.6%	282	7	108
29.1月	243	144	69	1	29	243	0	207	85.2%	164	4	39
2月	282	164	74	1	43	279	3	257	91.1%	153	8	96
3月	310	193	61	13	43	308	2	275	88.7%	210	8	57
4月	566	277	169	0	120	564	2	471	83.2%	331	13	127
5月	348	249	36	25	38	345	3	321	92.2%	267	1	53
6月	647	320	266	0	61	637	10	520	80.4%	325	8	187
7月	528	322	152	3	51	527	1	489	92.6%	371	12	106
対前月比	81.6%	100.6%	57.1%	-	83.6%	82.7%	10.0%	94.0%	-	114.2%	150.0%	56.7%
対前年同月比	81.5%	92.5%	70.7%	300.0%	60.7%	82.7%	9.1%	89.2%	-	97.1%	75.0%	70.7%
28.1~当月計	3,052	1,785	859	8	400	3,010	42	2,668	87.4%	1,881	68	719
29.1~当月計	2,924	1,669	827	43	385	2,903	21	2,540	86.9%	1,821	54	665
対累計前年比	95.8%	93.5%	96.3%	537.5%	96.3%	96.4%	50.0%	95.2%	-	96.8%	79.4%	92.5%

2 地域別新設住宅着工戸数(平成 29 年 7 月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
<b>県計</b>	<b>528</b>	<b>2,924</b>	<b>81.5%</b>	<b>95.8%</b>	<b>2,540</b>
山形市	159	728	67.4%	93.7%	610
上山市	7	56	100.0%	105.7%	55
天童市	36	270	102.9%	116.4%	212
山辺町	10	35	142.9%	68.6%	33
中山町	1	13	100.0%	36.1%	13
<b>東南村山</b>	<b>213</b>	<b>1,102</b>	<b>74.5%</b>	<b>95.9%</b>	<b>923</b>
寒河江市	42	137	175.0%	106.2%	119
河北町	1	36	20.0%	81.8%	34
西川町	0	3	0.0%	100.0%	3
朝日町	0	2	0.0%	28.6%	2
大江町	2	15	100.0%	93.8%	14
<b>西村山郡</b>	<b>45</b>	<b>193</b>	<b>136.4%</b>	<b>97.0%</b>	<b>172</b>
村山市	5	29	125.0%	63.0%	27
東根市	42	283	91.3%	109.7%	274
尾花沢市	4	44	100.0%	133.3%	44
大石田町	18	23	900.0%	460.0%	21
北村山	<b>69</b>	<b>379</b>	<b>123.2%</b>	<b>110.8%</b>	<b>366</b>
<b>村山地域</b>	<b>327</b>	<b>1,674</b>	<b>87.2%</b>	<b>99.1%</b>	<b>1,461</b>
新庄市	12	72	63.2%	75.0%	68
金山町	0	1	-	-	1
最上町	2	11	25.0%	73.3%	9
舟形町	0	4	-	133.3%	4
真室川町	2	11	25.0%	73.3%	11

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	1	0.0%	50.0%	1
鮭川村	0	2	-	100.0%	2
戸沢村	2	2	200.0%	200.0%	1
<b>最上地域</b>	<b>18</b>	<b>104</b>	<b>48.6%</b>	<b>77.6%</b>	<b>97</b>
米沢市	46	321	86.8%	142.0%	203
南陽市	26	117	136.8%	114.7%	115
高島町	6	35	26.1%	48.6%	35
川西町	6	19	120.0%	63.3%	18
<b>東南置賜</b>	<b>84</b>	<b>492</b>	<b>84.0%</b>	<b>114.4%</b>	<b>371</b>
長井市	8	58	133.3%	103.6%	55
小国町	2	7	200.0%	116.7%	7
白鷹町	2	21	66.7%	91.3%	20
飯豊町	1	8	100.0%	88.9%	8
西置賜	<b>13</b>	<b>94</b>	<b>118.2%</b>	<b>100.0%</b>	<b>90</b>
<b>置賜地域</b>	<b>97</b>	<b>586</b>	<b>87.4%</b>	<b>111.8%</b>	<b>461</b>
鶴岡市	46	244	68.7%	77.2%	234
三川町	0	13	0.0%	59.1%	12
庄内町	3	30	60.0%	65.2%	29
田川	<b>49</b>	<b>287</b>	<b>66.2%</b>	<b>74.7%</b>	<b>275</b>
酒田市	33	262	70.2%	84.5%	236
遊佐町	4	11	100.0%	110.0%	10
飽海	<b>37</b>	<b>273</b>	<b>72.5%</b>	<b>85.3%</b>	<b>246</b>
<b>庄内地域</b>	<b>86</b>	<b>560</b>	<b>68.8%</b>	<b>79.5%</b>	<b>521</b>

注:累計は平成 29 年 1 月~

